

事業の基礎情報

事業実施地域	兵庫県豊岡市
人材育成の対象	地域交通事業者、観光事業者、ケア専門職者、福祉事業者、地域コミュニティマネージャー、大学生 等
人材育成の手法	勉強会、フィールドワーク・アイデアソン、実証との連携
人材育成の内容	地域の移動課題を共有し、フィールドワークやアイデアソンを通じて解決策やアイデアを共有します。既存の交通事業者と新たな交通モードを実証することで、交通人材の理解とスキル向上を促進します。
想定育成人数	230名

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

本事業では、地方の人口減少による担い手不足から発する諸問題や地域課題に対し、交通を軸として多分野が共創するプラットフォームを地域住民と共に考え、広報する仕組みをつくることで、地域資源や特性を生かした課題解決を促します。プラットフォームでは共同者や地域住民と共に考え、交通インフラ改善や観光促進、地域コミュニティの強化などを学び、実践する能力を育成します。交通人材のネットワークを広げることで、地域社会の持続的な発展を促進し、地域経済や住民の生活の質の向上を目指します。

(事業の概要)

地域の移動課題解決に取り組むために、勉強会、フィールドワーク、アイデアソン、実証運行を通じて地域交通事業者や関連者と連携します。これにより、関わるプレイヤーの地域課題への提案力や解決策の開発、交通インフラの改善、観光促進策の企画、地域コミュニティの強化、ユニバーサルツーリズムの理解と実践スキルの向上を目指します。また、オンラインでのプラットフォームを通じて成果を共有し、他地域や関心層に情報を発信します。

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

独立した多分野の専門家が連携することで、地域全体のサービスや質の向上、課題解決の効果的な支援に繋がります。大学生など若手の参加者は、実践的な経験や地域貢献の意識を高めることで、将来の地域リーダーや専門家としての成長を促します。これにより、地域全体の人材レベルの向上と、持続的な地域発展が期待されます。

(事業実施手順・スケジュール)

6～7月：移動課題に関する勉強会
7月～2025年1月：フィールドワーク、アイデアソン
8～9月：実証と連携
6月～2025年2月：オンラインプラットフォームでの情報発信

項 目	時 期											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
■補助金交付申請	↔											
■勉強会			←	→								
■フィールドワーク、アイデアソン				←							→	
■実証運行と連携した人材育成					←	→						
■プラットフォーム構築、実装			←									→
■実績報告											↔	

(補助事業実施後の予定)

事業実施後、プラットフォームや養成ツールを活用した連携を維持し、アイデアソンで提案された新規事業構想に基づくミーティングを定期的で開催し、プロジェクトの発展に努めます。また、参加費やスポンサー協力、他地域展開による収益などを通じて、自立可能なビジネスモデルへの転換を目指します。